

農山漁村等地域の活性化のための融資をはじめとする支援

タイトル 他事業職員とのメイン強化先同行訪問

J A 名 J Aバンク鳥取 (鳥取県)

1 動機 (経緯)	<p>農業者の規模・経営形態・金融ニーズが多様化しており、そのニーズを的確に捕捉し、より専門的・高度な農業金融サービスの提供・相談対応等が必要となっている。</p> <p>このような農業金融を巡る情勢変化等を踏まえ、J Aグループの総合事業体としての強みをフルに発揮し、担い手経営体との信頼関係の構築、担い手経営体の利用率向上を図る取組みが急務となっている。</p>
2 概要	<p>将来的な地域農業の担い手として関係を強化・再構築すべき農業者を「メイン強化先」と位置づけ、信連農業金融センター職員およびJ A本所金融担当者が主体となり、営農部門(T A C、営農センター職員)との同行訪問を実施することで、担い手農家の資金ニーズに加え、営農を含めた総合的なニーズ(営農技術の向上、J A他部門への意見・要望等)を的確に把握し対応している。</p> <p>訪問内容については、「メイン強化先管理簿」を信連農業金融センター職員およびJ A本所金融担当者が作成し、当該J Aの支所(店)および営農部門との情報共有を図るとともに、年2回の実績検討会(信連とJ Aの信用・営農部門合同)にて訪問実績の報告、今後の対応・方針等を検討している。</p>
3 成果 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・営農部門(T A C・営農センター職員)との連携による訪問活動を通じ、設備投資等の資金ニーズを的確に捕捉し対応できている。 ・平成 25-27 年度 J Aバンク鳥取中期戦略において、本県では数値目標として J A 毎に農業資金新規実行目標額を設定しており、平成 25 年度の農業資金新規実行額は、計画比、前年比ともに上回っている。 ・J A 毎に年 2 回の実績検討会(信用部・営農部門合同)を開催しており、訪問状況および訪問先の J A に対する意見・要望等を共有することで、J A 内での共通認識・課題意識をもって営農指導および資金対応が図られている。
4 今後の 予定 (課題)	<ul style="list-style-type: none"> ・信用・営農部門(T A C、営農センター職員)での同行訪問を継続し、担い手農家の資金ニーズに加え、営農を含めた総合的なニーズ(営農技術の向上、J A他部門への意見・要望等)を的確に捕捉し対応していく。 ・営農部門等に対する取組説明(農業メインバンク機能強化の取組みの重要性、J A内事業間連携の必要性等)を継続することで、農業メインバンク機能強化に対する意識醸成、連携体制を強化していく。 ・農業融資に関する知識向上を目的に、J A融資担当者に対する県域集合研修「農業融資研修会」の開催(年 1 回)を予定している。